

下高 悔しさ溢れる逆転負け



スリーベースタイムリーを打ち先制点を決める高橋選手＝塚越普撮影



2018年（平成30年）

7月25日
水曜日

発行所

茨城県立下妻第一高等学校

新聞部

発行人 吉田 俊 則

編集人 岩田 純 弥

下妻一	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
藤 代	0	0	1	0	0	0	0	2	0	3

号外

20日、ひたちなか市民球場で行われた下妻第一高校（下高）と藤代高校（藤代）の試合は2対3で下高が敗退した。

一回、高橋良介選手（3年5組）が打ったボールを藤代のライトは捕えることができず、タイムリー三塁打となり1点を先制した。

その後下高は3回に1点を奪われるも6回、大竹泰仁選手（3年7組）がタイムリーヒットを打ったことで再び1点差で下高がリードする状況とした。

また、7回表に大谷吏功選手（3年2組）が負傷し試合が一時中

断するも7回裏には復帰し下高生の歓声を浴びた。

そして下高優勢で迎えた8回裏、下高は藤代から2アウトを奪うもタイムリー三塁打を放たれ同点に追いつかれ、さらに追い討ちをかけるがごとくタイムリーヒットを打たれたことにより藤代に逆転を許してしまった。その後の9回で得点を奪うことができず試合は終了し下高は惜しくも勝利を逃してしまった。2年連続ベスト8入りすることはできなかった。

（岩田純弥）